

事業番号	14 02 05	事業改善シート (26年度実施事業分)		予算要求	当初予算案	補正予算案	点検
事業名	活用方法選択型教員配置事業費			担当課	部局	教育委員会事務局	
					課・室	義務教育課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-1-1 教育再生プロジェクト		E-mail	<a href="mailto:gimukyo@pref.nagano.lg.jp">gimukyo@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		実施期間	H20(H14) ~		
		1 未来を切り拓く学力の育成					

## 1 事業の概要

目指す姿	学校ごとの様々な教育課題に柔軟に対応できるよう、小・中学校や市町村教育委員会が活用方法を選択できる方法で教員配置を行い、30人規模学級編制や少人数学習集団編成などにより、児童生徒の一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、学習習慣・生活習慣の確立と基礎学力の定着を図る。			
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習習慣、生活習慣の定着や学力の向上等に定性的には一定の成果を上げている。</li> <li>25年度から学年進行により中3の30人規模学級を実施し、小中学校の全学年で少人数学級編成を実施することとなった。</li> <li>小中の30人規模学級編成の導入効果等の検証と、それらを踏まえた効果的な指導方法の改善と工夫が必要である。</li> <li>不登校支援やいじめ対策など様々な教育課題に対応した教員配置を検討する必要がある。</li> </ul>			
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	[左記の説明、根拠法令等] 公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律		
	県民との協働による実施: 検討中			
成果目標・事業内容	成果目標 (H26)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校の選択する活用方法により、きめ細かい指導が行えるよう、必要な教員数を確保する。</li> <li>学習習慣・生活習慣が改善されることにより基礎学力が向上する。</li> <li>全国学力・学習状況調査結果において、基礎的・基本的な内容の定着度が全国平均より高い児童生徒割合の向上。 (H29目標: 小学校65.0%、中学校60.0%に向け、H26目標: 小学校65.0%、中学校57.9%)</li> <li>小・中学校における不登校児童生徒の在籍率の改善。(H29目標: 1.08%以下に向け、H26目標: 1.11%)</li> </ul>			
	事業内容 (単位: 千円)			
		項目	実施方法	H26事業実績
				H26 (当初) (決算) H27 (当初)
				合計

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	4,600,200	4,814,400	4,753,200	4,651,200
	補正予算				
	合計(A)	4,600,200	4,814,400	4,753,200	4,651,200
	一般財源	3,308,200	3,330,300	3,233,400	3,162,000
	県債				
	国庫支出金	1,292,000	1,484,100	1,519,800	1,489,200
	その他	0	0	0	0
	決算額(B)	4,600,200	4,814,400	4,753,200	
概算人員費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00
概算事業費(B(A)+C)	概算人員費(C)	16,516	16,516	16,516	16,516
		4,616,716	4,830,916	4,769,716	4,667,716

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
基礎的・基本的な内容の定着度が全国平均より高い児童生徒の割合	小学校 64.7% 中学校 54.5%	小学校 63.1% 中学校 57.9%	小学校 65.3% 中学校 58.1%	達成	小学校 63.7%以上 中学校 58.6%以上
小・中学校における不登校児童生徒在籍率	1.18%	1.11%	1.22%	未達成	1.10%

目標に対する成果の状況

- 基礎的・基本的な内容の定着度が小・中学校共に目標を上回る結果となった。
- 不登校児童生徒の在籍率は前年度を上回り目標に届かない結果となった。しかし、配置校において問題行動の発生が減少するなどの効果が表れている。

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	事業を実施しない	事業を見直して実施	事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上に課題のある教科で、より少人数な学習集団(コース)による指導を試行的に行い、事業効果の検証や指導方法の確立を図る。</li> <li>平成26年度県民協働による事業改善の指摘を受け、事業名称を分かりやすくするため、信州少人数推進事業と改めた。</li> </ul>		